

東京理科大学のボランティア学生(右)らと交流する宮城県気仙沼市の子どもたち



被災地の子どもも夏楽しむ

【長万部】東日本大震災で親を失った子どもたちへの支援を続けるNPO法人「一寺子屋 in 長万部」(幡野千不子理事長)が、今年も宮城県気仙沼市などから4家族9人を町内に招き、9日から3泊4日の日程でテニスや英語教室などの交流行事を行っている。

東京から町内に移住した幡野理事長と、趣旨に賛同する全国の会員約300人の寄付金で運営しており、今年で5回目。幡野理事長の夫純さんが東京理科大学で長年教員を務めた縁で、同大長万部校舎が毎年、夏休みで学生が帰省中の学寮や

長万部のNPO 今年も交流行事

【長万部】東日本大震災で親を失った子どもたちへの支援を続けるNPO法人「一寺子屋 in 長万部」(幡野千不子理事長)が、今年も宮城県気仙沼市などから4家族9人を町内に招き、9日から3泊4日の日程でテニスや英語教室などの交流行事を行っている。

学食を滞在拠点として提供している。

子どもたちは初日の9日夜、同校舎敷地でホタテや焼き肉などのバーベキューを楽しみ、理科大学のボランティア学生や教員らと交流を深めた。今年で5回目の参加という岡田翔希さん(14)は「震災から5年で町はだいぶきれいになりました。たこ気仙沼の様子を語り、毎年ここに来るのが楽しみです。友達と思いきり遊びたい」と笑顔をみせた。幡野理事長は「地元の皆さんをはじめ全国からの温かい協力を得ながら、被災した子どもへの支援を息長く続けていこう。」

目指し、山あいの道を車で約20

上部を白いドーム形の遮熱体

水管」「蒸気発生器」「中性子

留された。74年、洋上試験のた

センター内 1
8148・9・00 ~15
児科医院(飯生
73・3029、10
00)

渡島 檜山

森支局 ☎01374・2・2050
森町清澄町22
八雲支局 ☎0137・62・2211
八雲町富士見町132
木古内支局 ☎01392・2・2026
木古内町本町22
江差支局 ☎0139・52・0007
江差町姥神町105
せたな支局 ☎0137・84・5821
せたな町北檜山区徳島11
印刷工場見学受け付け
北斗市 ☎0138・84・5194

購読お申し込みも、配達先の変更も

☎0120-464-104

北海道新聞 道新スポーツ

ひと道南

厚沢部町で7月下旬に行われた「あつさぶふるさと夏まつり」で特産のメークインを使った恒例の巨大コロッケ作りを担当した。「メークインのおいしさを町外の人にも知ってもらえたいはず」と話す。



巨大コロッケ作りを担当 香川 直樹さん(39)

厚沢部商工会の青年青年部員は直径2尺のケを揚げる大鍋の清掃手配、会場設営など暮った。巨大コロッケ作り40代の部員約10人とて完成させ、来場者に

函教大生も威勢良く 江差 姥神祭りに参加



【江差】10日に本祭を迎えた姥神大神宮渡御祭では、町民だけでなく町外からも大勢の参加があった。このうち道教大函館校の学生は町内本町の山車「清正山」の引き回しや、神宮のみこし担ぎに参加し、町民と威勢良く練り歩いた。

んだ地域振興な相互協力協定に加した。男子学生12人ぎに参加。白装

ていきたい」と話した。NPOは11日午後6時から同校舎エソール会館で尺八とピアノの無料コンサートを開く。